

まどしい



第28号 平成27年4月発行 恵庭市消防本部予防課

春の全道火災予防運動実施

4月20日～30日

この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、恵庭市民の皆様防火に関する意識を高めていただくことにより、火災の発生を防止し、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的に実施します。

統一防火標語

もっいいかい

火を消すまでは

まあだだよ

～恵庭市における火災発生状況～（平成26年）

平成26年中の恵庭市内の火災件数は25件で、前年と比較して10件の増加です。出火原因のうち、電気に関するものが、6件と多くなっています。

ご自宅のコンセントや配線部分を今一度確認しましょう。ほこりが溜まったり、タコ足配線になっていませんか？



昨年恵庭市で発生した火災の中で、車両火災の火花が林野に燃え広がった事例を紹介いたします。

車両の後部に積載していたレジャーボート用のバッテリーが原因でした。バッテリーの上にガソリン携行缶を載せたことにより、バッテリーがショート、ガソリンに引火したと推測されます。

車のバッテリー交換の経験がある方も多いと思いますが、持ち運ぶ際や取扱いには注意が必要です。

特にバッテリーの端子部分に金属等が接触しないように、ガムテープなどで被覆する等、工夫が必要です。

バッテリーの端子(+・-)



イメージ写真

また今回の火災では、ガソリンに引火したことが被害を拡大させた要因になっています。ガソリン携行缶の持ち運びには、十分注意しましょう。

防火ポスター受賞者決定!

《最優秀賞》



島松仲町少年火防クラブ

田中 菜々美さん

第31回防火ポスター最優秀賞の作品です。市内の大型店舗や公共施設に掲示されます。とても力強く、瞳の生き生きとした表情が特長です。是非、実物をご覧ください。

～消火器の取り扱いについて～

○消火器の破裂事故について

古くなり腐食が進んだ消火器は、破裂するおそれがあります。屋外や軒下等、腐食しやすい環境に消火器が放置され、経年に伴い本体（特に底の部分）の腐食が進行したものが、放射操作等で本体容器内の圧力が急激に上昇することで破裂するものです。

○予防策として

- ・日頃から消火器の状態を点検し、腐食が進んでいるものは、絶対に使用せず、レバーを握ったり、衝撃を与えるような取り扱いをしないこと。
- ・消火器を運搬する際には、安全栓が正しくセットされているか確認し、安全栓が無い場合はテープで固定する等、消火器や消火薬剤が飛散、漏えいしないように処置して下さい。

○消火器の廃棄について

現在設置されている消火器は、何年製造のものですか？設置状況にもよりますが、約10年を目安に新しいもの買い換えることをお勧めします。消火器の廃棄には、費用がかかりますが、お近くの消火器を取り扱っているお店やホームセンターで新しい消火器を購入すると古い消火器を引き取ってくれる場合があります。詳しくはお近くの消火器販売店にお問い合わせください。



火災予防
消防用設備
危険物
のお問い合わせ

恵庭市消防本部予防課

[TEL:0123-33-0990](tel:0123-33-0990)